

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会

会 議 録

月 日 令和3年11月15日（月）
時 間 午後2時00分から午後3時15分まで
場 所 ユートリー 4階研修室

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会 会議録

出席委員（10名）

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 馬 渡 龍 | （八戸工業高等専門学校准教授） |
| 西 尾 洸 毅 | （八戸工業大学講師） |
| 高 橋 幸 治 | （社団法人八戸市社会福祉協議会総務課長） |
| 在 家 秀 則 | （東北アイスホッケークラブ株式会社） |
| 森 田 美 喜 男 | （東日本旅客鉄道株式会社八戸駅々長） |
| 上 村 秀 雄 | （八戸市タクシー協会々長職務代理者） |
| 佐 藤 欽 一 | （岩手県北自動車株式会社南部支社乗合部々長） |
| 佐 藤 美 仁 | （十和田観光電鉄株式会社運輸事業部次長） |
| 小 笠 原 博 仁 | （一番町町内会副会長） |
| 木 村 聡 | （一般社団法人 VISIT はちのへ事務局次長） |

オブザーバー（2名）

- | | |
|---------|----------------------|
| 田 中 瑞 穂 | （八戸市交通部次長兼運輸管理課長） |
| 戸 来 和 人 | （青森県八戸警察署交通第二課規制係々長） |

事務局出席者

豊川雅也	(都市整備部次長兼都市政策課長)
上館章	(都市政策課副参事 都市計画グループリーダー)
石橋正一	(都市政策課副参事 交通政策グループリーダー)
関口孝寿	(都市政策課主幹)
小笠原誠	(都市政策課技師)
田邊宗徳	(都市政策課主事)

第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会

令和3年11月15日（月）14:00～15:15

ユートリー 4階研修室

○司会

本日は、お忙しい中、ご出席下さいまして誠にありがとうございます。ただいまより、第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会開会いたします。

傍聴される方へお知らせいたします。当委員会におきましては、傍聴人の会議での発言はできませんので、ご遠慮くださいますようお願いいたします。また、写真撮影、録音等の行為、その他会議の進行に支障をきたすような言動、行動は慎んでくださいますようお願いいたします。なお、報道関係の方の写真撮影につきましては、冒頭5分間のみの撮影をお願いいたします。これらの事を守らなかった場合、退場していただく事がございますのでご協力のほどよろしくをお願いいたします。

それから、傍聴人の机に置いてあります本日の資料は、本会議のみで使用するものであり、まだ検討案の段階ですので、写真撮影などの行為はご遠慮下さい。なお、資料は会議終了後に回収させていただきますのでご了承下さい。

それでは、次第に従いまして委員会を進めて参ります。

まず、本日の資料の確認をいたします。お手元の資料をご参照願います。

資料は、本日お配りしております「次第、席図、出席者名簿、説明資料（1）・（2）・（3）」となっております。

お手元の資料に過不足等がある方は、お知らせ下さい。よろしいでしょうか。

ここで、事務局よりご報告申し上げます。本日は、所用のため、工藤委員と樋口委員が欠席でございます。八戸警察署 交通第二課の戸来係長がオブザーバーとして出席となっておりますので、ご報告させていただきます。

それでは、馬渡委員長に進行をお願いいたします。

○委員長

それでは、本日の議題を始めさせていただきたいと思っております。

本日は前回事務局よりご案内いただきました意見聴取ですが、非常にたくさんの意見を皆さまからいただくことができました。それを一度共有したうえで、課題の重要な点の検討事項・検討案を事務局から説明があるという形になります。

また、今日はユートリーを使用しております。こちらから駅前広場を眺められますので、皆さまにもご覧いただきまして、私も先ほど時間がありましたので眺めておりましたが、少しの時間でも様々な問題が想定されるようなことがありましたので是非そういったことを踏まえて、また新たな意見をいただきたいなと思っております。

それでは議事に入りたいと思っております。

最初に第1回検討委員会での意見メモについて、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

本日の委員会ですが、最初に（１）第１回検討委員会での意見メモについて、前回の第１回検討委員会後に委員の皆さまからいただきました意見メモをまとめましたので、ご説明させていただきます。

皆さまのお手元にあります、右上に第２回説明資料（１）とあります「第１回検討委員会意見メモ」ですが、東口駅前広場の各項目ごとに皆さまのご意見をまとめたものでございます。

主なものを、ご紹介いたします。

まず初めに、①バス乗降場についてですが、

- ・概ね現状のままで良いと思うが、短時間駐車場が無くなるなら、そこをバスの待機スペースだけでなく、観光バス降車場にする事で、東口商店街の経済活性化に寄与するものと思う。
 - ・進入路をユートリー側にし、交差点側の入り口を塞ぐ。
 - ・バス乗降場とタクシープールの場所を逆にするという案。
 - ・バス待機場をタクシープールにした場合は、後ろに自家用車スペースを現在より広く設ける。
 - ・バス乗り場への進入経路は自家用車と重複する区間があり、決して安全ではないように思う。
 - ・一般車とバスの入口が同じというのは危険だし、交通量の面で考えても一般車とバスは分けるべきだと思う。
 - ・ターミナルであれば、バス待合所が必要。サイネージも必要。
 - ・バス案内図があると良い。
 - ・バスの動線に関しては特段現状から変える必要はないのではないかと。
 - ・出入口は信号交差点から避けるべき。
- などが、主なものでございます。

続きまして、②タクシー乗降場についてですが、

- ・タクシー乗降場とバス乗降場を一緒の場所にしてはどうか。
- ・車椅子利用者なども乗りやすいようフラットな場所で乗降できるようなスペースが必要だと思う。
- ・常時待機台数は少ないため、広すぎると感じる。自家用車の降車スペース、短時間駐車場等に利用すべき。
- ・現在のタクシープールは過大傾向とあるが、具体的に56台の待機場を具体的に何台減らすのが妥当か事前に検討が必要と思う。
- ・現在のタクシー乗降場所は、階段を降りて来てから遠い。駅から出て来てタクシーにすぐ乗車できるように、降車場所を「乗車場所」に変更することを検討するべきだと思う。

- ・タクシーの出口が狭く、一般車両の出入りもあり混雑し歩行者が危険である。
- ・利用者の需要に見合った台数程度の場所があれば良い。また、バリアフリースペースも確保。

などが主なものでございます。

続きまして、③自家用車降車場についてですが、

- ・短時間駐車場を一緒の場所（駅に向かって右側）にしてはどうか。
- ・西口のようなフラップ式の短時間駐車場兼降車場にすることは可能ではないか？
- ・宝くじ売り場側を降車スペースに活用することも良いのでは。
- ・タクシープール側に設置するのは賛成だが、出入口の安全面を考慮する必要がある。
- ・わざわざ設けなくていいのではないかと思う。
- ・分かりづらい、利用しづらい、また安全性に欠けると思います。改善が必要と思います。などが主なものでございます。

続きまして、④タクシー乗降場についてですが、

- ・ユートリー駐車場を 30 分無料の短時間駐車場として利用することは可能か？
- ・入口が分かりにくい。現在進入禁止としているユートリー側に入口を変えることで、交差点の渋滞も少し緩和されるのではないか。
- ・バスと重複する区間があるのは危険である。
- ・道路にはみ出てならぶので危険。
- ・場所をタクシー待機場所へ移設してはどうか。などが主なものでございます。

続きまして、⑤広場、歩行空間等についてですが、

- ・イカ頭巾などのキャラクターなど、写真映えしそうなものを設置してはどうか。観光案内掲示板などもどうでしょうか。
- ・ユートリー 1 階のスペースをバスターミナル又は待合所的な活用はできないだろうか？
- ・八戸市民の花「菊」、木「欒」、鳥「ウミネコ」、魚「烏賊」、八戸市のマスコットキャラクターの『いかずきんズ』や『ウミネコ』『食用菊』などのモニュメント等を適所にバランスよく配置。
- ・バリアフリー対応は早急に望まれるのではないか。雨・風よけの風除室、待合スペースみたいなものがあればと思う。
- ・バリアフリー化とイベントがおこなえる様なスペースが欲しい。
- ・車両が進入しない安全な形状にし、通路においても、歩行者の横断がないようにする。
- ・噴水機能を有するモニュメントに関して景観スポットとして再整備あるいは撤去等も考慮して今後の在り方を再検討していただきたい。

などが主なものでございます。

最後にその他についてですが

- ・ 障害者乗降スペースは、エレベーター近くに2～3台分確保が望ましいと思う。屋根付きであれば尚良いと思う。
- ・ バリアフリー化を進めたり、身体障害者の乗降場所を適所に設ける。
- ・ 案内、誘導等は統一デザインにする。
- ・ 住民の安全面を考慮した計画を進めてほしい。
- ・ 出発案内、バスロケがあれば良い。
- ・ 観光バスについては、現在降車（1台）しかできないことから、乗車、降車、待機スペースの確保をお願いしたい。
- ・ 横断歩道の信号が短く高齢者等が行き来しづらい状況にあります。計画に直接係る点ではないと思いますが、整備に伴い相乗的に良くなることを期待しています。
などが主なものでございます。

以上が皆さまからのご意見でございます。

事務局として、ご意見をまとめますと、広場左側のバス乗降場については、概ね現状のままで良いが、短時間駐車場を利用する一般車との錯綜。また、交差点付近の出入口は危険であるため、バスと一般車は分け、出入口は交差点を避けた方がいいというご意見が多かったと感じております。

短時間駐車場については、入口が分かりづらく、バスとの重複、前面道路交差点での渋滞は危険であり、タクシー待機場所への移設、ユートリー駐車場への代替えが必要では、というご意見が多く感じました。

広場右側のタクシー乗降場、自家用車降車場については、出入口が混在し、分かりづらく、歩行者・周辺交通にも危険であり、配置スペースが利用実態にあっていないというご意見が多く、短時間駐車場も合わせて需要等調査し、安全面を十分考慮した利用形態の見直しが必要と感じました。

広場、歩行空間、その他のご意見については、雨風よけの風除室待合所の設置、案内板等、広場利用者に対する利便性が求められたご意見、特に広場全体に対するバリアフリー化が望まれたご意見がございました。

モニュメントについては、利活用、再整備、あるいは撤去等、両方のご意見がありました。

このような、多岐にわたるご意見を参考にいたしまして十分な検討をしていきたいと考えておりますので、委員の皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

次に、「第2回説明資料（2）」にまいりまして、今回、委員より、検討案についてご提案がありましたので、ここでご説明をお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

○委員

はい。資料（2）をご覧になっていただければと思いますが、私建築をやっております

ので、皆さまと同じく意見を言葉で出したんですけど、言葉がイメージ図としてどのようになるのか検討してみないと気が収まらなかったので提出させていただきました。今回ご紹介のお時間をいただけたのでご紹介したいと思います。

先ほど皆さまの意見にもあったように、自家用車とバス・タクシー、自家用車と公共交通を分けたほうがいいんじゃないか、という結論に至りまして案1と案2が添付されているかと思いますが、図は3枚ありまして1枚目が現況図、2枚目が案1、3枚目が案2となっております。案1、案2どちらも公共交通と自家用車を分けているもので、右側か左側かと、シンプルにその違いです。

自家用車を右側にした方が良いのか、自家用車を左側にした方が良いのか。意見書には台数についてもコメントしていましたが、台数については今ありましており十分な需要調査や皆さまのご意見をもって、十分に検討された上で決めるべきだと思いますけれども、大きくは台数以前に自家用車と公共交通を分けるべきではないのかなと思ってこのような形にまとまるかと提案させていただきました。

オレンジ色がバス、黄緑色がタクシー、水色が自家用車になっています。

案2の場合ですと駅に向かって左側にバス・タクシーの公共交通をまとめて、右側が自家用車というスペースとしてとってあげる図になっています。分けて考えたときにキャノピーの向かい側に今も広場がありますが、交差点のところにある出入口を、これが危険の元になっていると思うので、可能であれば封鎖したほうが良い。それが可能であれば歩行者のための居場所として歩行者のためのプールとして広場がとれるのではないかと期待しています。

案1はこれの逆パターン。ユートリー側が自家用車、向かって右側が公共交通になっています。こうすることで歩くための人の場所も大きくとれると思いますし、自家用車と公共交通のバッティング、トラブルも防げるのではと思っています。あとは必要な台数を需要調査した上でスペースを確保していくということが考えられるかなと、あくまで私の意見を図にしましたけど皆さまの意見や需要調査をもって、もう少しバージョンアップして考えていくべきだと思います。

補足として、シェルターは書いてないが、前回シェルターを活用していきたいとありましたので、シェルターを残しながら通路をとっていければ良いと考えています。それとこの場合ですと、右側・左側どちらに自家用車をもってきても、自家用車の台数が圧倒的に現状より増えるかだと思います。そうした場合には、本八戸駅のように、斜め駐車などゆとりをもってスペースをとって駐車する等して、駐車台数を制限する方向性もあるかと考えております。以上です。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、右上に「第2回説明資料(3)」とあります資料にそって、ご説明いたします。検討事項、検討案についてですが、まず初めに、資料の2ページをお開きください。こちらは、先ほどご説明いたしました、皆様からのご意見を図に示したものです。全てのご意

見を示してはございませんが、この図を参考にいただければと思います。

1 ページに戻りまして、この表は、東口駅前広場の各施設の現況配置数を整理したものに、皆様から頂いたご意見を基に、事務局として検討事項をまとめたものになります。

それでは、広場の施設ごとに検討事項をご説明します。

広場左側にあります、

- ・路線バス、高速バス乗降場につきましては、現状5バースで、1バースが高速バスと併用しておりますが、維持したいと考えております。
- ・観光バス、送迎バス乗降場につきましては、現状降車のみ1バースとなっておりますが、乗降場及び待機場所を1～2バース程度検討したいと思っております。
- ・路線バス、高速バスの待機場所につきましては、短時間駐車場だった場所に、動線を考慮しつつ4台程度確保したいと思っております。
- ・交差点内の出入口については、歩行者の安全確保を優先し、現入口は歩行者と交錯するため廃止し、ユートリー側の入口のみとすることを検討。（ただし、ユートリー側を入口とした場合、信号待ち一般車や対向車との交差に注意が必要となります。）
- ・出口は現行ルートのままが、安全確認しやすく、道路に出やすいと考えました。
- ・待機バスは、広場内で回転した方が安全と考えました。
- ・短時間駐車場につきましては、ユートリー駐車場や西口の活用も視野にいれ、現在の場所から無くす方向で検討します。

つぎに、広場右側の、タクシー乗降場につきましては、

- ・現状維持を基本に検討。
- ・タクシー駐車場は、過大傾向かどうかも含め、来年度予定しております、基本計画業務委託におきまして、需要実態調査や事業者へのヒアリングなどを行いまして、適正台数を十分に検討したいと考えております。また、上長公民館の隣、こちらは当課所管の敷地になりますが、一番町バスプールの活用を検討。なお、ここは新幹線開業当時、観光バスの需要増大に対応するため、待機場として整備されたものですが、現在はほとんど利用されておらず、空き地状態となっているところです。そこで、ショットガン方式のタクシープールとしての採用も併せて、来年度検討したいと考えております。
- ・自家用車降車場につきましては、タクシー駐車場と併せて配置や出入口の安全性を考慮し、短時間駐車場の設置、分かりやすい利用案内の検討。また、北側宝くじ売場前スペースの乗降場としての活用等も検討してまいりたいと考えております。

広場・歩行空間等につきましては、

- ・広場を安全、快適に利用できる歩行空間の改善、来訪者が「来て良かった」「行ってみたい」とワクワクする様な観光案内、初めての来訪でもわかりやすい周辺地図、イベント開催時や常時利用可能な、「キッチンカー・移動販売車」のスペース設置、市民の花「菊」・木「欒(いちい)」・鳥「ウミネコ」・魚「烏賊(いか)」等のシンボルやマスコットキャラク

ターを活用した八戸の紹介等、人が集まりにぎわいを創出するモニュメント周りの空間活用等。

・また、待合空間としましては、バスナビ、バスロケ、ユートリーとの連携等による、便利で分かりやすく、利用者にやさしい空間づくりの検討を考えております。

最後に、その他の事項としまして、

- ・広場全体のバリアフリー化。
- ・駅へアクセスしやすい身障者用乗降場の増設（エレベーター付近、屋根付）。
- ・駅前広場利用者、地域住民が安全に利用できるよう、周辺道路の改善。
- ・景観にも配慮した、分かりやすい周辺案内、デザイン統一。
- ・あわせて、経年劣化によるバス停の色あせ、腐食等の改修。
- ・老朽化した照明のLED化やロードヒーティングの改修等が必要と考えております。

資料の3ページには、只今ご説明しました検討事項を踏まえ、基本計画検討(案)を図に示しました。この図はあくまでもたたき台として作成いたしましたので、これから意見交換や、修正案などのご意見を頂戴いたしまして、整備方針の方向性をまとめてまいりたいと考えております。

図の内容についてご説明いたします。

広場左側のエリアにつきまして、現在のバスプール形状（乗降場所やシェルターなど）は、そのまま活用し、中央に位置する短時間駐車場は廃止し、バス運行の動線を考慮したうえで、各種車両の待機スペースとしました。このことから、事務局としては、広場左側のエリアはバス専用スペースとする方向で検討してまいりたいと考えております。

バスの出入口につきまして、短時間駐車場は廃止し、現在の入口は駅を利用する歩行者の安全のため廃止し、ユートリー側を入口とする方向で考えました。現在の入口を廃止したことにより生まれるスペースを活用し、前面道路側に観光バス等の乗降場を配置してみました。

出口に関しましては、現在の場所は一方通行で安全確認がしやすく、交差点の信号により出やすいため、出口は現在のまま活用したいと考えました。

広場右側のエリアにつきましては、タクシープールと自家用車駐車場の配置になりますが、こちらは、委員の皆さまからご意見がありましたように、各種実態調査を実施し必要台数などを把握した上で、事業者との協議を重ね、短時間駐車場の必要性についてもあわせて、整備の形状を検討したいと考えておりますが、明確な絵はまだ描けておりません。また、図面中央部の横断歩道前に(仮)に示しました、身障者乗降場所ですが、バスとの共存もさることながら、安全性・利便性について広場全体に関するバリアフリー化とあわせて、詳細な検討が必要と考えております。

最後になりますが、広場改修とあわせた利便性の向上につきまして、皆さまからご意見のありました、待合空間などユートリーとの連携も視野に、さらには、広場周辺地域に関

わる安全面や一番町駅通りとの回遊性も考慮し、詳細な検討をしてまいりたいと考えております。

検討事項、検討案についての説明でございました。

次に、4ページをお開きください。参考までに、今後のスケジュールについてご説明します。

今回は検討事項、検討案について、事務局よりご説明させていただきましたが、この後、委員の皆さまからご意見、ご感想をいただきまして、それを基に、修正案を作成し、来年令和4年1月中旬を予定しております、第3回検討委員会において、意見交換を行いまして、来年度へ向けた整備方針の方向性を取りまとめ、今年度の会議は終了となります。そして、令和4年度には「八戸駅前広場整備基本計画」の作成業務を委託契約しまして、3回程度開催を予定しております検討委員会において、詳細な検討をしてまいりたいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

○委員長

ありがとうございました。ただいま説明をいただきましたメモや事務局側の資料に対してのご意見を皆さまからいただきたいと思っています。指名したほうが皆さま活発にご発言いただけると分かりましたので、今回もそのようにさせていただきます。それでは席順に委員から、一人3分程度で、短くてもよろしいのでお願いします。

○委員

私の考えは先ほど十分話させていただいた通りですけど、市案との違いで言うと、左側をバスのためのものでして、反対側の右側のほうをタクシーと自家用車で共存させるというところが私の方で考えてきたものと違うところかと思うんですけど、これはバスの台数・スペースがどれくらい必要かによって影響してくるのかなと思います。高速バス、観光バスが何台必要か、どれくらい停まるのか。西側も含めて検討できないかとは思いますが。

西側にもバス、タクシーが停まる場所があると思うんですけど、それと分担して計画することはできないかと、こちらでしか停まらないとかあるのであれば、こっちでバスのための面積を割くべきだと思うんですけど、西と東で両方あるわけですので分担をどう考えるかも重要かなと思います。市案ですとタクシーと自家用車が混在するということになりますが、それが良いかどうか検討しても良いかと思えます。以上です。

○委員長

今の委員からのご意見でバスの分担という話がありましたが、西側と東側での分担や連携について、バス事業者もいるので何か追加や補足できることがあればお願いできればと思います。

○事務局

平成 26 年度の駅前広場基本計画策定は、西口の広場が主なものではありましたが、役割分担として西口は観光バスで、路線バスについては西口には行っておりませんので、東口は路線バスというすみ分けで検討いたしました。今後路線バスが西口に行くかは分かりませんが、西口は観光バス、東口は路線バスというすみ分けになるのではないかと思います。

○委員

市案には東口にも観光バスがあるが、今後東口に観光バスが増えると予測しているのですか？

○事務局

観光バスを止められるスペースがあったら便利になるという考えで、検討し配置した結果、スペースがありましたので、意見メモの「観光バスを止められないか」に対応したところであります。

○委員長

ありがとうございました。では委員お願いします。

○委員

右側のタクシープールを縮小できるのであれば、自家用車の駐車スペースとして西口と同様フラップ駐車場にするのも良いのではと考えております。事実今、15 台くらいの駐車場がバスプール内にありますが、そこに待機スペースとして観光バス等を配置するという、それくらいしか考えられておりませんでした。先ほどの委員の案 2 をお伺いして、そういう意見もありかなという気がしております。事務局から皆さまの意見をいろいろ説明していただきまして、タクシーに乗るのに少し距離が遠いという話がありましたが、委員のタクシーをバスプール側にすると結果的に今の路線バスの 1 番乗り場からタクシーが乗れる、乗る方々は非常に乗りやすい。

路線バスについては左側、ユートリー側にあったほうが、ユートリーをバス待合所として使える、そういう意味では「はっち」のようなバスの到着案内をするとお客はやはりバスもタクシーも左側にとというのも一案かなと思いましたが、ただ、タクシーも左側になると、今のスペースでは足りないのかなという気がするのです。最終的にはお金の問題、いかに整備をしていくかが大きなネックになるのかなという気がします。右側のタクシープールを自家用車の駐車スペースになるとかなりの台数止められるので、駅に送迎される方にとっては大きいのかなという気がしました。以上です。

○委員長

ありがとうございました。それでは委員、お願いします。

○委員

さまざまな事業者がいるので、それぞれを考慮すると市案もありかなと思います。ちょっとお伺いしたいのが、この検討案の中で、観光バスの乗降場を塗りつぶして横断歩道を白く塗っておりますが、これは横断歩道は生きるということなのでしょうか？ちょっと懸念されるのが、ここがバスの乗降場になったときに、横断歩道の位置がここでいいのかというのが、図面から気になったところでした。

自家用車の短時間駐車場と降車用スペースとが、初めて来た人には分かりづらい配置になっているというのは頷けるところがありますので、そこは精査が必要になると思います。私としましては、右側の宝くじ売り場の前が、エレベーターやエスカレーターから少し離れますが、余裕があると思うので有効活用したらさまざまな機能を取り入れることが可能になるのではと思います。以上です。

○事務局

横断歩道につきましては、信号待ちで停車している一般車両が並びますと、ユートリー側の入口が塞がれてしまう懸念がありますので、横断歩道は可能な限り交差点側へ近づけて入口に支障がないような検討をしたいと考えております。駅にまっすぐ向かえるような動線を考えた配置にしました。

○委員長

はい、それでは委員、お願いいたします。

○委員

いろいろと意見を書かせていただきました。タクシープールとバス乗降場の位置を逆にする案や、お客様がユートリー側に来ると乗りやすいという意見もありましたし、ユートリーにお客様が増えるのではないかという意見もありました。

タクシープールについては過大傾向にあると言われておりまして、実態調査をしてタクシー協会としてもそれに合わせていくのが良いのかなと思っております。

短時間駐車場については、今の場所をなくしてユートリー駐車場に30分無料スペースを、30台くらいに増やせば渋滞など解消できるのではと思います。そこは機械なり、いろいろな問題はありますけど。

歩行空間について、八戸駅東口は八戸の顔ですのでシンボルの活用をするということで八戸市民の花「菊」、木「欒」、鳥「ウミネコ」、魚「烏賊」ですね。八戸市のマスコットキャラクターの「いかずきんズ」や「ウミネコ」など、バランスよく配置し八戸の名産を印象付けるというのをやってみたいなと思ってこのような意見を出しておりました。以上です。

○委員長

はい、ありがとうございました。委員お願いします。

○委員

まず先ほど東口、西口のすみ分けの話がありましたけど、今現在東口に路線バスと高速バスが乗り入れしてしまっていて、一つの考え方として高速バスを西口にということも考えられますが、全ての路線バスが東口からの発着になっておりまして、高速バスからの二次交通のことを考えますと、どうしても東口で揃えて朝到着して、そのまま路線バスに乗り継いでいただくという面からも、現在は東口で統一しているという現状です。

市からの案を示していただきまして、(3)の資料ですかね、まずバスの目線から気になるのは、入口のところ、自家用車が信号で時間によっては渋滞していると思いますが、そこを右折して入っていくのは、現状よりも入りにくく危険なのかと感じております。当社でも同じような交差点近くでターミナルに入っていくというのが、ラピアのバスターミナルでも同じような傾向がございまして、自家用車が長く停まっている状態で、自家用車が譲りますといったときに、バスの運転手が慌てて入ろうとして接触を起こしてしまう面もありますので、そこは慎重に考えていきたいと思っております。

資料の中の観光バス乗降場ということで黄色に塗りつぶしてありますけども、例えば時間帯によって観光バスから降りた観光の方がユートリーのほうに歩道を歩いて行ったときに、バスが進入しようとして重なる可能性もあるのかと思うので、その点も十分注意が必要だと感じております。

あと、真ん中ほどに障害者の乗降場ということで案が仮に置いてありますけども、この案ですとバスの前を通過して乗降スペースに入っていく形になるので、バスの出発と重なり危険と感じております。

あと意見で上げ忘れておりましたが、意見を考えるために歩いてみましたけど、簡易の立て看板が多いなと感じました。外から来た人が見るといいものではないなと、とりあえず立てた見栄えの良くない立て看板が多いかなと感じておりました。以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。今重要なご指摘がありましたけど、例えば高速バスの発着を西口に移動してもらおうというような協議は可能なのでしょうか。事務局のほうで検討できる事項なのか、それとも難しいのか。

○事務局

高速バスですと、今何社か入っているのですが、当初は先ほどすみ分けということでお話いたしましたけど、以前仮に高速バスを全部西口に移すのはどうかとバス事業者に打診したことがあります。先ほど委員から話があったように、アクセスの面では、西口だと八戸西スマート IC からの乗り降りになり、今走っているバスのルートは、利用があるところを経由し、中心街を走ってきて東口から八戸 IC に行きますので、スマート IC の方では、ルートが利用客に合うかどうか勘案すると難しい、と事業者からお話がありました。現状はそのような状況です。

○委員長

はい、ありがとうございます。他の委員からもご指摘があったと思いますが、右折あるいは左折する車と横断者との交錯ということ、あるいはバスプールの車道を横切って乗降する方とか、安全性の問題とかについてはまた具体的に議論してもいいかなと思っておりました。バリアフリーとか立て看板とかも重要な問題かなと思っておりました。

それでは続きまして、委員お願いいたします。

○委員

はい、私も自家用車とバス・タクシーを分けたいという意見を書かせていただきました。先ほど委員がおっしゃった通り、バスのほうに車椅子の乗降場所があると危ないので反対側のほうが良いのではないかと思います。あとは西口のほうの造りがけっこう良いのかなと、使いやすく便利かなと思っておりました。以上です。

○委員長

はい、それではオブザーバーより、お願いいたします。

○オブザーバー

まだ案の段階だと思いますが、この写真を見ますと大きく変わった点はバスの入口が交差点からなくなっただけかな、そこだけかなというイメージを持ちました。私の中では大きな図案というか、形はまだ申し訳ないですけど見えてなくて意見だけ言うのも申し訳ないけれども、これだけだと現況と変わらないのかなというイメージを持っています。

警察としては円滑と安全面を強くみる形になりますので、横断歩道を新しく引いている部分がバスの通路に残るのは良くないです。あとは交差点の中にある横断歩道、もともとありますけど、線が地中化されているので現実的に横断歩道を移設するのが可能なのか。道路を掘らないといけないのでそこもできるのか？

一般車両の乗降場が、そのままの形状である、バスの出口が交差点に残るのは、バスの曲がる軌跡を考えると他のところにもってくるのは難しいのかなとは思いますが、正直その交差点に出入口が近いと事故の懸念が多くなるので避けたいと思います。バスの軌跡、回転の幅にもよりますが、現在のバスプールを使うのであれば、円形状にできるのであればくるくる回れるような出入口を一カ所に、この図案の左側の出入口から。出入口の場所をセットバックして広めにとり、バスが右左折できるような状態にできれば良いのかなと。あとは、バス出入口には横断歩道を設けない。

タクシーと自家用車が残っているので、そこもどうなのかなと。もし可能であればこのスペース真ん中に物理的に半分にするようなものを作るのも案なのかなと。右側のスペースを半分に、縦に歩行者用の通路のようなものを引いて左側をタクシー、右側を自家用車と分けるのもいかがなものかと考えておりました。以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。円滑安全面というキーワードをいただきまして、皆さんが気になっている部分のご指摘いただけたのかなと思っております。私から質問なのですが、交差点部分の信号は歩車分離にすることは可能なのでしょうか。

○オブザーバー

現在、朝の7時～19時までが歩車分離になっていたはずですが。

○委員長

ありがとうございます。わかりました。それでは委員お願いします。

○委員

はい。左側のバス専用スペースに関してはよく見ておりますけど、私がイメージしたのに近いかなと考えています。業務用車両とかは別として、バスだけにするのが一番安全だし、自家用車が入ってきてというトラブルもないということで良いのではないかなと。実際バス待ちの人は、特に天気の悪い日には、ユートリー一階でよく待機していて、バスを見て出ていくということもありますので、ユートリーの中にもサイネージであったり、バスが来るよという案内をすることによって待合所的な機能が果たせるのではないかと考えております。

観光バスについても、最近旅行者が多くなってきていて、修学旅行の方がバス停めて降りてお土産買ったり、三社大祭の山車もありますのでそれを見に来たりしておりますので、今は降車場だけとなっておりますけど、乗る降りる両方できるような形にしてもらえたらと考えております。高速バスについてもここで降りて二次交通で目的地に行くので東口にも必要だと考えております。

身障者用スペースについて、どこが良いのか分からないが場所と台数については検討が必要かなと。ここに自家用車が釣られて入ってくる可能性もあり、バスと自家用車が混在してしまうので場所の工夫が必要かなと。利用する人としてはエレベーター付近がいいというのはわかりますので、そこは検討が必要だと思います。

右側については、私も先ほどの話同様タクシーと自家用車とを右左で分けてしまったら良いのかなというふうに、どう回るかとかは分からないが、はっきり分けてしまう。タクシーの利用台数の調査などして、必要台数分をタクシーにして残りは自家用車が入るような形にしまえば良いのではないのかなと考えております。

自家用車の有料駐車場はユートリー立体駐車場と連携して、ユートリーの駐車場であれば悪天候でも駅まで外に出ないで行けたりしますので利便性も良いのかなと考えます。

あと私も前回意見しましたが、旅行者にとっては初めて降りる駅でして、エスカレーターを降りたときにワクワクする感じが欲しいなと思って見ておりました。バスとタクシーのところまでシェルターがありますが、中心街であれば季節ごとにバナーフラッグが並んでいて華やかな感じがします。先ほど委員がおっしゃっていた地元のキャラクター等を

生かしたりして、ソフト面になると思いますが、季節ごとにうまく地域の魅力を表現して、到着したところで次の旅を楽しめるようなイメージを持っていただけるような玄関口になればいいのではないかと思います。

○委員長

はい、ありがとうございます。今の委員のお話に対して何か事務局から補足ありませんか、大丈夫ですかね。非常にたくさん有意義な意見をいただいたなと思っております。それでは委員、お願いいたします。

○委員

地元に住む人間としての意見を言わせていただくと、委員が出された自家用車とバス、タクシーを分ける案に賛成です。案2がいいのかなと個人的に思っておりました。どうしても正面のメイン道路は信号があるので渋滞が起きるにしてもなんとかなっているような感じですが、右側のタクシー出口のところは自家用車が混在して非常に危険な状態を何度も見ているので完全に分けてしまったほうが安心です。私からはそれだけです。以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。地元に住んでいる方の、必要な視点だなと思っております。それでは委員、お願いいたします。

○委員

市の案も良いと思います。また案2も視点がよく、公共交通と自家用車がはっきりしていて来訪者に誘導しやすい。ただバスの台数や需要によっては、西口と一緒に検討するのも進展の材料になるかと思っておりました。

○委員長

はい、ありがとうございます。委員の方から一通り意見をいただきましたが、今年度としては、来年度に基本計画の絵をコンサルタントに描いていただくための考え方の方向性をまとめていくのが一つの落としどころかなと思っております。

今日皆さまのご意見ですとか、いただいたメモなど見ても、一番は安全性というのが重要な側面かと思っております。利用者の方々、車、様々なものの安全性をいかに確保していくのかというのが一つ目としてあると考えています。

二つ目が、アクセス性とか利便性、今皆さまから不便という言葉がたくさん聞かれましたが、そういった意味でアクセス性や利便性を新しい計画の中でどういう風に解決をしていくのが重要な側面としてあると思っております。

三つ目が、広場と言っておきながら、広場として活用されていないということがありまして、集合性といいますか、皆が集まって何かをする広場のあるべき姿というものを考えても良いのかなという意味での集合性が一つのテーマになってくるかなと思っております。

四つ目ですが、委員の方々からも意見がありましたけども、平成最初の頃の施設ですので、現代的な仕様にアップデートすることが問われているのかなと思っております。象徴としてはバリアフリー、サイネージ、看板がみっともないとかですね、あとは象徴的なものが少ないですね、とかあったと思います。そういう意味で、現代的な仕様にアップデートしていくというのが四つ目のテーマとしてあるかなと思っております。

五つ目は、皆さまが頻りにおっしゃっていたのが、西口との連携でしたり、駐車場を含めてユートリーをどう活用するかですとか、既存施設の有効活用というのも大きなテーマとして残されているのかなと思っております。やはりバラバラに計画されたもので、今一回全体としてどう連携していくか、使っていくかというのが今この東口の計画で問われていると感じましたので、そういった点が必要かなと感じております。

あと先ほどの、現代的な仕様にアップデートすることに関して、個人的な意見を申し上げますと、どうしても利用者や車の利便性とか便利さの方だけを取ってしまうが、一方で需要を抑制するというのも現代的な意味でのアップデートかなと思っております。世界中の都市を見ていったときに車が簡単に通行できない中心街や、公共交通を中心とした街づくりや、中心街に入るためにロードプライシングという通行税を取ったりとか、需要抑制も一つの戦略として成功しているような都市もたくさんありますので、現代的な仕様にどうアップデートしていくかという中に需要抑制という言葉も入ってもよろしいのかなと思っております。

こういったものが私としての令和3年度の会議の考え方の方向性として提案したいキーワードになってきましたので、この中にこういった文言とか構成を入れていくのか次回の会議の中で皆さまと議論しながら来年度に繋げていけるようにと思っております。もし何か皆さまからこういう視点もあった方が良いのではないかとか、5つのポイントの中でこういう視点を盛り込んだら良いのではないかとかがあれば、ご発言いただきたいと思っております。いかがでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

お願いいたします。

○委員

はい、委員長のお話の通りだと思っております。皆さまからの意見や、私も意見として記載させていただいたものが、ユートリーの活用についてですが、まずはユートリーを待合所的なものにする、サイネージを設けるなど、バス利用者の目線で整備ができればというなか、もう一つは自家用車がユートリーの駐車場を使うことができればいいなど、今30分無料としていますが、まずそれができるかどうかということですね。もしできるのであれば今の東口の自家用車の駐車場は無くして降車専用にし、降車専用はあくまでも西口と

同じフラップ型で30分以上停めたらそれは有料ですよ、という形にする。そうすれば駐車が東口になれば、今行政側としても委託料払って管理してもらっているわけですから、そのお金をかけずに、ユートリーを使えるのであれば今のタクシープールと乗用車はだいぶ減り、ひょっとしたらタクシープールもユートリー側に寄せるといった形にすると今のタクシープールがまさに広場として、東口の活性化に繋がる、西口と一体的に使うことができればそれはすごく良いのかなという感じがしました。以上です。

○委員長

ありがとうございます。他に委員の方々から何か補足とか追加でご意見あればいただきたいのですがいかがでしょうか。それでは、無いようでしたら次回の会議にあたって意見徴取みたいな感じの文章を集めて次回の会議でフィードバックしていくような形を取ればなと思いますが、よろしいですかね。

○事務局

本日、意見メモを用意しておりませんでしたので、後日、皆さまにお送りさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。

○委員長

今話した5項目を書類として事務局へお送りしますので、それをきれいに文言を整えていただいて、それに対しての意見をいただくような形で進められたらと思います。一応今日用意している議題はここまでですが他に次回に向けて何かこういうことを話し合ったら良いのではとかあれば、意見メモの中に追加して書いていただいてもよろしいかと思しますので、どうぞよろしく願いいたします。

はい、今日準備しているシナリオのほうはこれで終わりになりますが、一旦事務局へお返しします。

○司会

委員長、議事の進行ありがとうございます。それではここで、豊川都市整備部次長兼都市政策課長より一言ご挨拶がございます。

○豊川次長

皆さま、長時間に亘りご議論いただきまして誠にありがとうございます。本日は、委員長からもありましたが、直接東口広場を見ていただきながら議論していただくということで、ユートリーの4階を用意した次第でございますけれども、帰りにでも窓から見ていただいて、またさらに意見があると思いますので、考えていただければと思います。いろいろなご意見が出て、なかなか我々では考えつかないところもございますので、次回に向けて課内でも検討いたしまして、皆さまに提示していきたいと考えております。

八戸市では市長が交代することになりまして、小林市長の任期も明日までということで、

17日からは熊谷市長が登庁されるということで、駅前広場の整備につきましても新市長には十分説明してご理解をいただけるよう我々説明してまいりたいと思いますので、今後も皆さまにおかれましては、いろいろとご意見いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

○司会

それでは次回でございます。資料（3）の最後のページをご参照願います。次回第3回検討委員会につきましては、来年令和4年1月中旬頃の開催を予定しております。日程等が決まりましたら皆さまにお知らせを後日、送らせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、第2回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。